

社内通知 用途



各項目	目指すべき状態	推奨事項
配信グループ数	全社員の他、所属部署、フロア、拠点、年次などで内容を分け、伝えたい情報を伝えたい相手に効率的に配信出来ています。	海外の支社等には多言語配信を利用
メール認証	社内受信用サーバで“なりすまし”判定を受けないような必要な対策をDNSサーバで設定しており、安心してメール配信が行える環境です。	・SPF の設定 ・DKIM(作成者署名) の設定 ・STARTTLSの実装
配信回数	社内通知メールが送る凡その時間帯を予め社内で決めているので、確認漏れを防ぎ、バックオフィスや管理職の稼働減に繋がっています。	任意
開封数(HTML)	HTMLで送ることによって内容を見ていない社員を確認することができる為、リマインドとして追加メールを効率的に配信することが出来ています。	開封率平均 90%
データベース項目数	中途入社、時短勤務等、柔軟に対応すべく情報漏れがないよう、社員の状況に合わせて柔軟に抽出できる環境が作れています。	任意

※ 黄色の項目は重要課題と想定される項目です。